

① 大学開放講座

年 度	大 学 名	テ ー マ	受講者数
昭和60年度	郡山女子大	家庭生活と文化	61
昭和61年度	県立会津短大	くらしと健康	51
昭和62年度	いわき短大	情報化時代のくらしと教育	82
昭和63年度	桜の聖母短大	英会話初級講座	72
平成元年度	日大工学部	未来エネルギー 暮らしと建築	52
平成2年度	福島女短大	音楽を楽しむ 教養講座	87
平成3年度	いわき短大	人間性豊かな暮らしをめざして	81
平成4年度	郡山女子大	地域の歴史と文化	89
平成5年度	桜の聖母短大	今を生きる～心の時代に向かって	175
平成6年度	県立会津大学	コンピュータの世界体験講座	

しかしそれだけでなく、学校はもう一つ生涯学習機関としての役割をもっています。地域住民の多様なニーズに対応するため、学校自体が生涯学習機関の一つとして、学校の持つ施設・機能を広く地域や社会に開放し、様々な学習機会を提供することが期待されています。

学習機会の提供の一例です

(4) 学校の教員が自らの生涯学習に取り組むことは、教員自身にとっても、新しい発見と自己の充実・向上に結び付くものであり、使命感の高揚や指導力の向上にも役立つと

ともに、学校教育そのものにも好ましい影響を与えるものである。また、経験豊かな社会人や生涯学習の指導者などを、幅広く学校教育の場に迎えることは、学校の教育機能を高めることに役立つものであり、積極的な対応が望まれる。

前にも述べましたが、生涯学習の観点から見たとき、学校はまず第一に生涯学習の基礎づくりとしての役割を担っています。人々が生涯を通じて学習を続けていくためには、それに必要な基本的な能力や自ら学ぶ意欲・態度が不可欠です。それら生涯学習の基礎である自己教育力を育成していくのが学校の役割であることはいうまでもありません。

が、長野県茅野市では様々な講座や教材の中から市民一人ひとりの興味や知識水準、学習条件に合わせて学習できる「学習メニュー方式」を取り入れた開放講座を平成元年度より小・中学校の教職員により実施してきました。平成5年度には47講座、90活動に17名の教師が参加し、受講生は約2,300人でした。その内容も多様で、「親子で楽しむバドミントン」、「親子の料理」、「楽しい算数」等、人文、自然関係の教養講座から、教育、芸術、生活、スポーツ・レクリエーションの講座・活動まで及んだそうです。講座等の感想は、「指導者自身が、大変勉強になっている」、「準備が大変だが、参加者が意欲的に取り組むので気持ち良く進められた」、「参加者に喜ばれるので、やりがいがある。」などで、住民のために、いろいろな学習機会を提供しようと思われた開放講座ですが、「教える」から「共に学ぶ」といった共学の精神が生まれるなど、開放講座は教師にとっても学習のいい機会となったようです。この例一つからも、生涯学習

に果たす学校の役割の大きさがあらわれています。生涯学習社会の実現に向けて、生涯学習機関の一つとして学校自らがこれまで以上に積極的に対応していく必要があります。

② 高等学校開放講座

年度	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき
昭60	福島農蚕	安積第二	東白川農商	若松商業	田島	双葉農業	平工業
昭61	福島商業	郡山商業	白河実業	喜多方工業	只見	小高商業	勿来工業
昭62	二本松工業	郡山北工業	塙工業	若松商業	南会津	相馬	磐城
昭63	保原	岩瀬農業	東白川農商	会津工業 喜多方商業	田島	相馬農業	磐城農業
平元	川俣	小野	白河実業	会津農林	只見	小高工業	平商業
平2	安達	安積女子	棚倉	若松商業		小高商業	平工業
平3	福島西女	田村	白河女子		南会津	双葉農業	磐城農業
平4	安達東	須賀川	塙工業	会津農林		浪江	勿来工業
平5	福島南 福英会話・ ワープロ	石川等 陶芸	白河実業 パソコン	耶麻農業 芸・パ等 ソコン		原町工業 パソコン	平商業 パソコン
平6	聖光学院 (未定)	船引 ワープロ	東白川農商 ワープロ かほ	会津工業 パソコン		相馬女子 (未定)	平工業 パソコン